

平成30年度採用分海外特別研究員・海外特別研究員－RRA

申請書提出にあたっての事務担当者用チェック要領

申請書類の提出は電子申請システムでの提出（送信）のみとしています。
（ただし、申請件数一覧及び申請リストについては、郵送等による提出が必要です。）

申請書類を取りまとめ本会に提出（送信）いただくにあたり、例年、申請資格不備にて選考の対象外とせざるを得ない案件が発生しております。各機関におかれましては、いま一度、精査していただくようお願いいたします。

申請書類の提出（送信）方法等、特に注意していただきたい事柄を以下に掲げますので、提出前に確認してください。

申請者が「電子申請システム」内で一度「提出」の処理をした「申請書情報」の記載内容を訂正する場合、事務担当者は「電子申請システム」内で当該申請者の「申請書」の「却下」の処理をします。その後、申請者本人に「電子申請システム」上の情報を訂正させ、その後再度「提出」の処理をさせていただきます。

なお、一度取りまとめて本会に提出（送信）いただいた後は、追加することは認められませんので、御注意ください。申請書提出後の申請書の修正・差し替えは本会では一切受理しませんので、募集の周知の際にその旨を申請者へ必ず御指導ください。

1. 申請書類の提出方法について

申請書類の提出に当たっては以下の2種類を行っていただく必要があります。それぞれについて期限が設定されています。

(1) 申請書類の電子申請システムによる提出（送信）【Web上の送信のみ・紙媒体の提出は不要】

- ・申請書類の構成は下表のとおりです。
- ・申請書類全てが揃わなければ、申請することはできません。
- ・申請リストの確定を行うことにより、本会へ申請書類が提出（送信）されます。
※郵送等による紙媒体の申請書類の提出は不要です。（申請機関が作成する書類は除く。）
- ・本会への申請書類の提出（送信）期限は、平成29年5月8日（月）17:00（日本時間）【厳守】です。

<申請書類の構成および作成方法>

	内容	作成方法	作成者
申請書情報	学歴・研究課題名等を記載	電子申請システムにおいてWeb入力※	申請者
申請内容ファイル	現在までの研究状況・派遣先における研究計画・研究業績等を記載	本会ホームページから取得したWord等で作成後、電子申請システムへ登録	申請者
受入意思確認書	海外における受入研究者の受入に関する意思の確認	電子申請システムにおいてWeb入力 ※ID・パスワードは、申請者が	海外における受入研究者
評価書	申請者の研究内容に精通している研究者1名による評価	作成依頼処理をすることで、電子申請システムより作成者へEmailにより通知	評価書作成者

※「研究・職歴等別紙」について

申請書1頁 項目⑬「研究・職歴等」欄に、経歴の全事項を記載できなかった場合は、本会 HP よりダウンロードした様式「研究・職歴等別紙」(Word 等)に記載し、電子申請システムへ登録してください。

(2) 申請機関が作成する「申請件数一覧(別添1)」・「申請リスト(別添2)」・「証明書(海外特別研究員-RRAのみ)」の提出【紙媒体での郵送等による提出】

- ・申請書類の提出(送信)とは別に、「申請件数一覧」・「申請リスト」の2点の書類は紙媒体で提出してください。
- ・「申請件数一覧」と「申請リスト」については、本会の「電子申請システム」より印刷してください。
※「電子申請システム」より出力した「申請件数一覧」ファイルにより印刷ができない場合には、「電子申請システム」の出力画面の注意書き中の「こちら」より Word ファイルを出力することができますので、そちらに件数等を手動で入力し、印刷してください。
- ・「申請リスト」は、部局順・受付番号順に申請者が掲載されます。(受付番号は、申請者が「申請書情報」の入力を完了した際に自動的に付番されます。申請機関内で連番にはなりません。)
- ・海外特別研究員-RRA の申請がある場合には、各申請者の「証明書」を申請リストに記載されている順番にして提出してください。
- ・本会への書類の提出期限は、平成28年5月8日(月)～5月11日(木) 17:00【必着】です。

2. 申請書のチェック項目について

1) 申請資格等を満たしていることの確認について

(ア) 博士の学位等について

【海外特別研究員】

平成30年度採用分については、平成30年4月1日現在、博士の学位を取得後5年未満の者(平成25年4月2日以降に学位を取得した者。申請時においては見込みでも良い。)

【海外特別研究員-RRA】

平成30年度採用分については、平成30年4月1日現在、博士の学位を取得後10年未満の者(平成20年4月2日以降に学位を取得した者。申請時においては見込みでも良い。)

(イ) 職歴について

平成30年4月1日現在、大学等研究機関※の任期の定めのない常勤研究職の在職期間が過去通算して5年未満の者

※科学研究費補助金取扱規程(文部省告示)第2条に規定されている以下の研究機関。

- a) 大学及び大学共同利用機関
- b) 文部科学省の施設等機関のうち学術研究を行うもの
- c) 高等専門学校
- d) 文部科学大臣が指定する機関

(ウ) 外国人の申請について

日本に永住を許可された外国人は申請できます。(在留資格が「留学」、「日本人の配偶者」等の場合は、申請できません。)申請にあたっては「永住許可証の写し」等の添付は必要ありませんが、本会への提出前に在留資格を確認してください。(採用内定後の派遣開始手続時に提出が必要となります。)

2) 「⑪大学院博士課程」と「⑫学歴」の記載内容について

「⑩大学院博士課程」欄の入学年月等の記載内容と、「⑫学歴」欄に記載された学部及び修士の学歴とのあいだに、矛盾している点がないかを確認してください。

3) 「⑬研究・職歴等」について

貴機関に所属の常勤研究者のうち、「⑭現在の所属機関」「任期の有無」欄で「無」に該当する者については、就職日に日付が記入されているかを確認してください。

4) 「⑭現在の所属機関」について

職名、任期の有無が正確に記入されているかを確認してください。

5) 「⑮申請資格」について

機関として常勤研究者と認識している者以外が(1)常勤研究者を選択していないかを確認してください。

6) 「⑯現在の受入研究者」について

所属機関、部局、部局種別、職名が正確に記入されているかを確認してください。

7) 「⑰出身大学院の研究指導者」について

(ア) 出身大学院での研究指導者とは、区分制でいう、大学院博士課程在学当時の研究指導者を指します。区分制でいう、大学院修士課程ではないので注意してください。

(イ) 所属機関、部局、部局種別、職名が正確に入力されているかを確認してください。

8) 「⑱海外における受入研究者」について

所属機関、部局、部局種別、職名が正確に記入されているかを確認してください。

【申請書情報のチェック箇所】

申請書情報(We b上で入力)部分の必須項目、桁数チェック等の基本的なチェックは電子申請システム上で行っています。上述の注意事項に留意した上で、申請書情報のチェックは下記の項目について行ってください(該当箇所は、次ページの図をご参照ください)。

A: 申請者氏名

指定の登録方法で登録されているか確認してください。(「電子申請システムによる申請手続の概要(申請機関担当者用)」P. 11参照) 戸籍名は機関担当者が登録し、登録名およびローマ字表記は申請者が電子申請に入力します。

B: 現在の所属機関・申請資格

所属機関における「職名」及び「任期の有無」に誤りがないかを確認してください。

また、申請資格のうち「(1)常勤研究者」については、所属機関が常勤研究者であると認識している場合のみ選択可となります。常勤研究者ではないにもかかわらず、申請者個人の判断で「(1)常勤研究者」を選択している場合には、御指導ください。

C: 「現在の受入研究者」等の研究者情報

貴機関に所属の研究者が記入されている場合、氏名や所属部局、職名等が正しく記入されているかを確認してください。

申請書1～4ページの「申請書様式」は、「電子申請システム」より作成してください。

No. (申請書情報) 受付番号

平成30年度採用分
海外特別研究員
申請書
第 版

①審査領域			
②分科			
③細目			④専門分野
④分科・細目 コード			

⑤研究課題名 (和文)
(英文)

1. 申請者情報等 (所属機関コード:)

⑥氏名 (フリガナ) (姓) (名) 性別
(漢字等) (名) (名)
戸籍名 (フリガナ) (名) (名) 1. 男
(漢字等) (名) (名) 2. 女
ローマ字 (ローマ字) (姓) (名)

⑦国籍 日本 / 日本以外 (国名コード:) (国名:)
⑧生年月日 (西暦) 年 月 日生 (西暦2016年4月1日現在 歳)

⑨大学院・博士課程 (出身または在学)
入学年月 (西暦) 年 月 入・進学
大学名 国内の大学 / 海外の大学
研究科名
課程種別
修了・進学等 (西暦) 年 月 修了 / 単位取得後修業期間満了 / 中途進学
学位 (西暦) 年 月 日
学位付記
専攻分野

⑩学歴 (学部、修士、博士)

⑪研究・職歴等
研究・職歴等の別紙の有無
有 / 無
就職日 (大学等研究機関の任期に定めの無い常勤研究職) (西暦) 年 月 日

⑫現在の所属機関
所属機関名
氏名
職名
部長
種別
主任の責務 有 / 無

申請者署名

⑬申請資格 (ブルダウシ)
(1) 常勤研究者
(2) 常勤研究者を志望する者

⑭海外特別研究員終了後の進路

⑮奨学金・フェロシップの有無 / 申請中の有無
「有」「申請中」を選択した場合その名称: . . .

⑯派遣を希望する期間 (西暦) 年 月 日 ~ (西暦) 年 月 日 (2年間)

⑰派遣国

⑱海外における受入の大学等研究機関での身分

見本

申請者署名

⑲現在の受入研究者
氏名 (フリガナ) (姓) (名)
(漢字またはローマ字) (姓) (名)
外国人の場合、ローマ字で入力
科研究
研究者番号
所属機関名 国内の機関 / 海外の機関
氏名
職名
部長
種別

⑳出身大学院の研究指導者
氏名 (フリガナ) (姓) (名)
(漢字またはローマ字) (姓) (名)
外国人の場合、ローマ字で入力
所属機関名 国内の機関 / 海外の機関
氏名
職名

㉑海外における受入研究者
氏名 (FAMILY NAME) (First Name) (Middle Name)
(英文)
(漢字等) (姓) (名)
海外受入研究者が日本人の場合、入力して下さい
職 (英文)
(和文)
(種別) 大学 / 国公立総合研究機関 / 非営利の民間研究機関
所属機関名 (英文)
(和文)
氏名 (英文)
(和文)
住所
連絡先 電話番号: (内線)
FAX番号:
Email:

㉒評価書作成者
氏名 (フリガナ) (姓) (名)
(漢字またはローマ字) (姓) (名)
外国人の場合、ローマ字で入力
所属機関名 国内の機関 / 海外の機関
氏名
職名
部長
種別
連絡先 Email:

申請者署名

㉓研究活動における主な使用言語

㉔外国での研究遂行能力について (語学能力の確認)

㉕海外における研究・留学
期間: (西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日
目的:
期間: (西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日
目的:
期間: (西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日
目的:

㉖海外特別研究員制度における支障の必要性
【過去に海外での研究経験を有する場合は既に海外で研究に従事している場合のみ記入】

道主に海外での研究経験 (国際会議、学会発表等を除く) がある場合、又は、派遣を開始する予定日より前に、既に海外の研究機関において研究を行っている場合は、本制度において支障を及ぼさなければならぬ理由について以下に説明してください。(800文字以内、改行は5回まで入力可)

申請者署名

【申請内容ファイル・受入意思確認書について】

- 申請内容ファイル: PDF 変換後、文字化けや図表について申請者が確認するよう御指導ください。事務担当者の方における確認は不要です。
- 受入意思確認書: 事務担当者の方における確認は不要です。

【この様式は見本です。】

- ・「電子申請システム」より印刷してください。
- ・海外特別研究員と海外特別研究員－RRA の両方に申請がある場合には、それぞれ公文書を作成してください。

申請機関コード

平成 年 月 日

海外特別研究員〔平成30年度採用分〕
申請件数一覧

独立行政法人日本学術振興会 理事長 殿

所属機関 所在地

研究機関 名称

機関長職・氏名

職印

海外特別研究員〔平成30年度採用分〕申請書を下記のとおり提出します。

記

申請件数 件 (内訳別紙リストのとおり)

担当部局

担当者名

連絡先住所

電話番号

F A X 番号

E-Mail アドレス

【この様式は見本です。】

- ・「電子申請システム」より印刷してください。
- ・海外特別研究員と海外特別研究員－RRAの両方に申請がある場合には、それぞれ公文書を作成してください。

別添1

申請機関コード

平成 年 月 日

海外特別研究員 - RRA [平成30年度採用分]
申請件数一覧

電子申請システムより印刷した
ものには、「－RRA」という記載
はありませんので、申請事業に応
じて手入力で追加してください。

独立行政法人日本学術振興会 理事長 殿

所属機関 所在地

研究機関 名称

機関長職・氏名

職印

海外特別研究員 - RRA [平成30年度採用分] 申請書を下記のとおり提出します。

記

申請件数 件 (内訳別紙リストのとおり)

担当部局

担当者名

連絡先住所

電話番号

F A X 番号

E-Mail アドレス

